

身近な話題をお届けします。皆さんからの情報もお待ちしております。

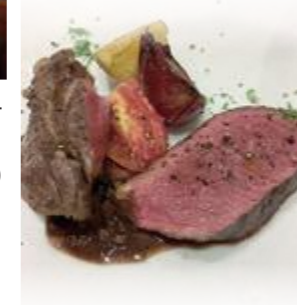
つながるアルバム

想いをつなぐ 美味しい牛肉



牛骨の出汁を使ったスープ、ローストビーフ、煮込み料理など牛肉づくしのコース。上の写真の奥が菅野さん。村とのつながりも保ちながら畜産を未来につないでいます

福島市のイタリアンレストラン「オステリア・デッレ・ジョイエ」で、菅野義樹さん(比叢)が北海道で育てる黒毛和牛を味わう催しが開かれました。当日は、菅野さんも店を訪れ、この牛肉の特徴などを紹介。予約客らが、フルコースの絶品料理に舌鼓を打ちました。



二枚橋地区で8年ぶりの盆踊り



会場では焼きそばやかき氷が振る舞われました。子ども達は、目の前で氷が削れるレトロなかき氷機に興味津々



震災前、地域ぐるみで子ども達に祭り囃子を教えていました。教わった世代もやぐらの上で演奏を担います

二枚橋地区の盆踊り大会が、集会所前で、8年ぶりに開かれました。「久しぶり」と声を掛け合う踊りの輪。墓参のため嫁ぎ先から帰省したという女性は「本当に懐かしい」と目を細めました。予想以上の来場者と踊りの輪に、お囃子が一段と高鳴りました。

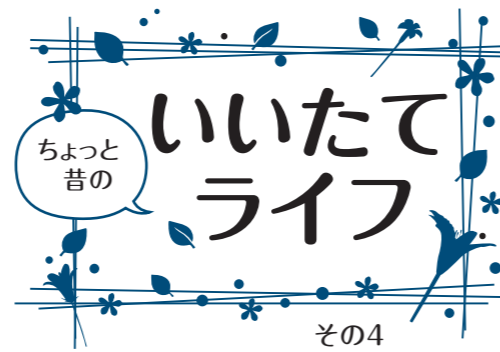
飯樋町の盆踊りは昨年続く開催



飯樋地区でも、8月14日に、飯樋町集会所前で盆踊り大会が開かれました。開会前には、カラオケ大会でのど自慢。やがて祭り囃子が始まると、踊りの輪が次第に大きく広がりました。輪の中には、帰省した親子らも加わって、故郷の夏を笑顔で楽しんでいました。



地域の人やボランティアの皆さんが裏方として祭りを盛り上げていました



その4

「豆名月」「芋名月」

飯館村史第3巻の「年中行事」によると、旧暦8月15日のいわゆる「中秋の名月」は、「先の名月」もしくは「豆名月」と呼ばれ、スキ、栗、サツマイモ、団子、枝豆などを供えました。月に供える豆は、どこの畑から採ってもよいとか、盗んで来てもよいとか、トウモロコシを取って食べられても怒ってはならないとか言われたそうです(「月へのお供えを盗ってもよい」というのは、県南地方の「お月見泥棒」の風習に似ています)。そして、旧暦9月13日の「十三夜」は、「後の名月」もしくは「芋名月」と呼ばれ、サトイモやサツマイモなどの芋類、あるいはサトイモを入れて炊いた赤飯などを供えたそうです。

参考/飯館村史第3巻「民俗」  
飯館の夜空は澄んでいて、月夜も星月夜もとつてもきれいです



旧暦なので、今のカレンダーでは、約ひと月遅れの「十五夜」と「十三夜」。片方だけでは縁起が悪いとされ、両方を祝いました。また、驚いたことに、全国的には、先の名月が「芋名月」、後の名月が「豆名月」と、呼び方が逆の地域が多いようです。一方、少数派ながら飯館と同じ順序の地域もあるようで、品種や気候による旬の違いなのでしょう。どうか、どうして?いつから?とちよっと気になりますね。ともあれ、それぞれ故郷のなわらしを大切に、よいお月見を。

身近な情報をお寄せください

身近な話題や情報をお寄せください。村内はもちろん、日頃なかなか取材にうかがえない県内外の避難先からも大歓迎です。※紙面スペース等の都合上、必ずしも掲載とならない場合もありますが、その際は何卒ご容赦ください。

封書や葉書で情報をお送りいただく場合は、連絡可能な電話番号をお書き添えください。

【情報提供はこちらまで!】

〒960-1892  
相馬郡飯館村伊丹沢字伊丹沢  
580番地1 飯館村役場  
総務課企画係 広報担当宛  
☎0244-42-1613 (企画係)

飯館村敬老会

千昌夫さんステージ

一般観覧が可能です

「星影のワルツ」「北国の春」などの大ヒット曲で知られる演歌歌手の千昌夫さんが飯館村敬老会に出演します。招待者以外の一般の方も無料で観覧できます。ぜひお出かけください。



千昌夫さん

- とき 9月9日(日) 午前11時過ぎから出演の予定 (敬老会は午前10時30分から)
- ところ 飯館中学校体育館
- 問合せ 健康福祉課福祉係 地域活性化センターいちばん館 ☎0244-42-1633

村は、村主催のイベントや村民の皆さんの取り組みを取材し、広報紙・ホームページ等に掲載しています。写真掲載に不都合がある方は、お手数でも総務課企画係までご連絡ください。